



学校だより



心を揺さぶられたステージ

校長 岡山 博子

学校の裏の土手にふきのとうが、もっこりと顔を出している。通勤途中に、見事な紅梅満開の場所がある。春を知らせる梅花に心が凜としてくる。様々な春の息吹がエネルギーをもたらす季節である。

先日、ある研究団体のダンス交流のステージを見る機会があった。幼児から大学生まで様々なテーマでステージいっぱい表現している中に、ある小学校の作品にダンス部と支援学級の児童が一緒になってステージを作っている作品があった。創作の過程では、自分なりの表現の仕方でもみんなと合わせたり、特性を生かした独特の動きで表現したりなど練習の苦勞が想像できた。どんな会話やぶつかり合いがあったのだろう。指導される先生はどのような言葉掛けをされたのだろう。子供たちや先生の思いのつまった、一人一人の個性が生かされたまとまりのある感動的なステージであった。春の訪れを伝える自然と同じぐらいエネルギーにあふれていた。まさに、クリエイティブでインクルーシブな心揺さぶられた時間・空間であった。

このような場面が、様々な活動に多く見られるようになることを心から願っている。
いつでも・どこでも・だれとでも・・・

居住地校交流

今年度は、4人の児童生徒が居住地校交流を行いました。

山崎智史さん、前畑愛月さんは3回目、山口英岳さんは2回目の交流でした。前回、前々回の交流を踏まえ、交流校の友達が様々な準備をして待っていてくれました。おかげで楽しく充実した時間を過ごすことができました。川畑希望さんは、以前通っていた可愛小学校と交流を行いました。たくさんの友達と久しぶりに話をしたり、ゲームをしたりして楽しみました。



今年度も交流を通して、同年代の友達と活動する楽しさや喜びを学習することができました。

教材・教具の紹介

毎年恒例の自作教材・教具作品展発表会

に、やまびこ医療福祉センターのリハビリテーション部からも参加をいただき、数多くの作品が出展されました。指導への思いがたくさんつまった自作の教材・教具の活用法の説明や体験等があり、よい研修の場となりました。



研修風景



じゃんけんサイコロ



キルンダー

(カレンダー切り取り機)



iPadスタンド

中学部の学習の様子

中学部では、キャリア教育の視

点から教育活動の改善・充実を目指しています。本年度は、週1回作業的な学習を設け、共同作業(陶芸、紙工、リサイクル活動)に取り組みました。個々に応じた教材教具を開発することで、生徒の生き生きとした姿が引き出されるような支援に取り組んでいます。



吉元祐貴さんさんは、牛乳パック洗いやペットボトル潰しの作業等で、見通しをもって意欲的に取り組めるようになりました。



卒業おめでとう



小学部5人、中学部3人、計8人が卒業します。小学部卒業生の皆さんは、素晴らしい中学生活が待っています。お楽しみに。そして、中学部卒業の3人は、鹿児島養護学校、出水養護学校、武岡台養護学校と、それぞれの高等部へ進学します。新しい学校で素晴らしい出会いがあることでしょう。皆与志養護学校から応援しています。頑張ってください。

<小学部>

<中学部>



児童生徒会の紹介

児童生徒会長の山口

英岳さん、副会長の谷之口拓也さんと牧瀬梨羅さんで、行事の児童生徒代表挨拶や全校集会の司会を頑張りました。



また、今年度から委員会がスタートし、委員長の元番大輝さん、副委員長の吉元祐貴さんを中心として、フッ素容器の回収や風邪予防の放送等の係活動に一生懸命取り組みました。

